

News Release

株式会社山陰合同銀行

 〒690-0062 島根県松江市魚町 10
 TEL.0852-55-1000
<https://www.gogin.co.jp>

2022年3月14日

第1回地方創生SDGs金融表彰のW受賞について ～地方創生実現へ向けた自律的好循環のロールモデルとして評価～

山陰合同銀行（頭取 山崎 徹）は、2022年3月14日（月）に開催された「第1回地方創生SDGs金融表彰授与式」（主催：内閣府）において、当行と鳥取県の地方公共団体が連携したプロジェクト2件が受賞しましたのでお知らせします。

この表彰制度は、地方公共団体と地域金融機関等が連携して地域課題の解決や地域経済の活性化を目指す取り組みの中で、SDGsの考え方を生かした実効性の高いプロジェクト^{*1}を選定・表彰することで、地方創生の実現を加速化させるために今年度創設されました。なお、当行は全国の金融機関として唯一2件のプロジェクトにおいて受賞しました。

※1 地域における資金の還流と再投資を生み出す「地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成」に資する取り組みが選定対象。自律的好循環形成の全体像については次頁ご参照。

記

1. 受賞プロジェクトについて

連携支援プロジェクト	「知る」から「パートナーシップ」まで リトルで利取る鳥取県版SDGsパッケージ支援	SDGs・脱炭素で地域事業者のサステイナブル経営 を後押しするSDGs未来都市の挑戦
受賞団体	鳥取県、山陰合同銀行 ^{※2} 、鳥取銀行	鳥取県日南町、山陰合同銀行
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ①SDGs取組企業の創出・裾野拡大に向けた「知る」支援、②企業によるSDGsの取組をステップアップさせるための「実践」支援、③ステークホルダー連携による活動拡大を後押しする「パートナーシップ」支援を実施。 各支援フェーズ（①～③）に沿った施策を展開することにより、県内のSDGs認知度が向上するとともに、主体的にSDGsに取り組む企業が増加するなどの成果を上げている。 また、実践支援においては、全国初となる県版SDGs認証制度の創設（2022年4月予定）に向け、県・金融機関を中心とした官民連携体制で検討を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> FSC認証森林^{※3}である町有林から創出されたJ-クレジットを活用したカーボン・オフセットを促進する取り組み。販売支援を行う「地域コーディネーター制度」を導入し活動を推進。 地域コーディネーターである金融機関の持つネットワークを活用することで顕著な成果がみられ、地域への資金還流が拡大。さらに、実効性のある森林への再投資を実現するために「基金」を造成するなど独自の取組に深化。 また、SDGs啓発活動も協働して実施。SDGs未来都市選定へ向けたセミナーや町職員向け研修、J-クレジット購入企業へのSDGs研修などの企画も連携して実施している。

※2 当行は代表金融機関

※3 持続可能な森林活用・保全を目的として誕生した、「適切な森林管理」を認証する国際的な制度



2. 表彰式

2022年3月14日（月）に、第1回地方創生SDGs金融表彰のオンライン表彰式が開催されました。同一県内の2件のプロジェクトが受賞したことをうけ、両プロジェクトの構成団体が一堂に会して表彰式に参加し、鳥取県内における地方創生SDGs金融の高まりをアピールしました。



（左から）鳥取銀行平井頭取、鳥取県亀井副知事、当行頭取

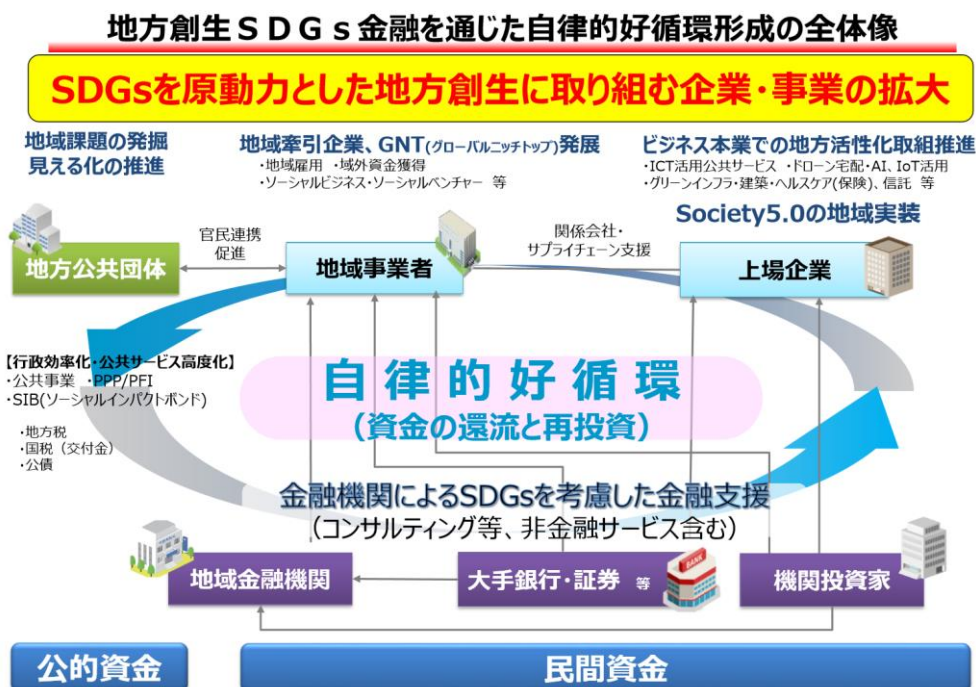


（左から）日南町中村町長、当行頭取



以上

<ご参考> 自律的好循環形成の全体像



(出所：「地方創生SDGs・ESG金融調査・研究会報告(内閣府)」より抜粋)